

2017(平成29年)

ハタハタ情報 No.1

平成29年9月19日発行

中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2017年9月8日～9月10日に、雄冬岬沖の水深170～330m付近においてトロールによる漁獲試験を行いました。7調査点で計9尾（0歳魚を除く）のハタハタを採集し、体長測定や年齢査定などを実施しました。

- 採集状況は過去最低の水準（1マイル曳網あたり平均1.0尾）
- 1歳魚（2016年級）が主体か。ただし採集量が少ないため不明瞭
- 成熟状態（来遊時期）は雌の採集がなく、10月調査まで見通し立たず

1. ハタハタの分布状況（図1）

雄冬沖付近の7調査点でトロールを曳網しましたが、全体的にはスケトウダラの採集が多く、ハタハタは1マイルあたり1.0尾と、近年では最も少ない採集量となりました。

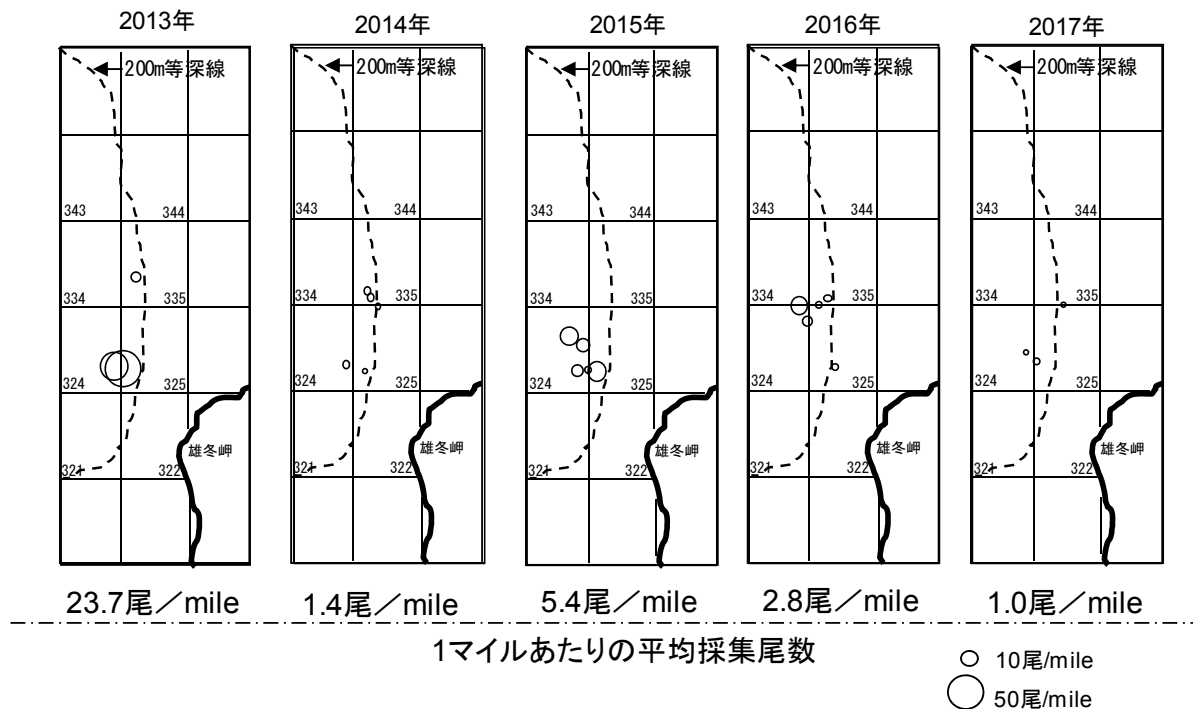


図1 9月トロール調査による採集尾数

2. ハタハタの体長と年齢 (図 2)

例年、この時期の調査では雌の採集は少なく、今回の調査では雌は1尾も採集されませんでした。雄についても採集数は9尾と少なかったのですが、年齢の内訳では1歳魚(2016年級:2016年生まれ)が78%,2歳魚(2015年級)が22%でした。2015年級は昨年(2016年)の調査(2015年級)でも少なかったことから、今漁期でもあまり期待できず、昨年より魚体の小さい1歳魚が主体となる見込みです。ただし、採集数が少ないことから、体長や年齢については、今後の漁獲物調査や次回のトロール調査の結果と合わせ検討していく予定です。

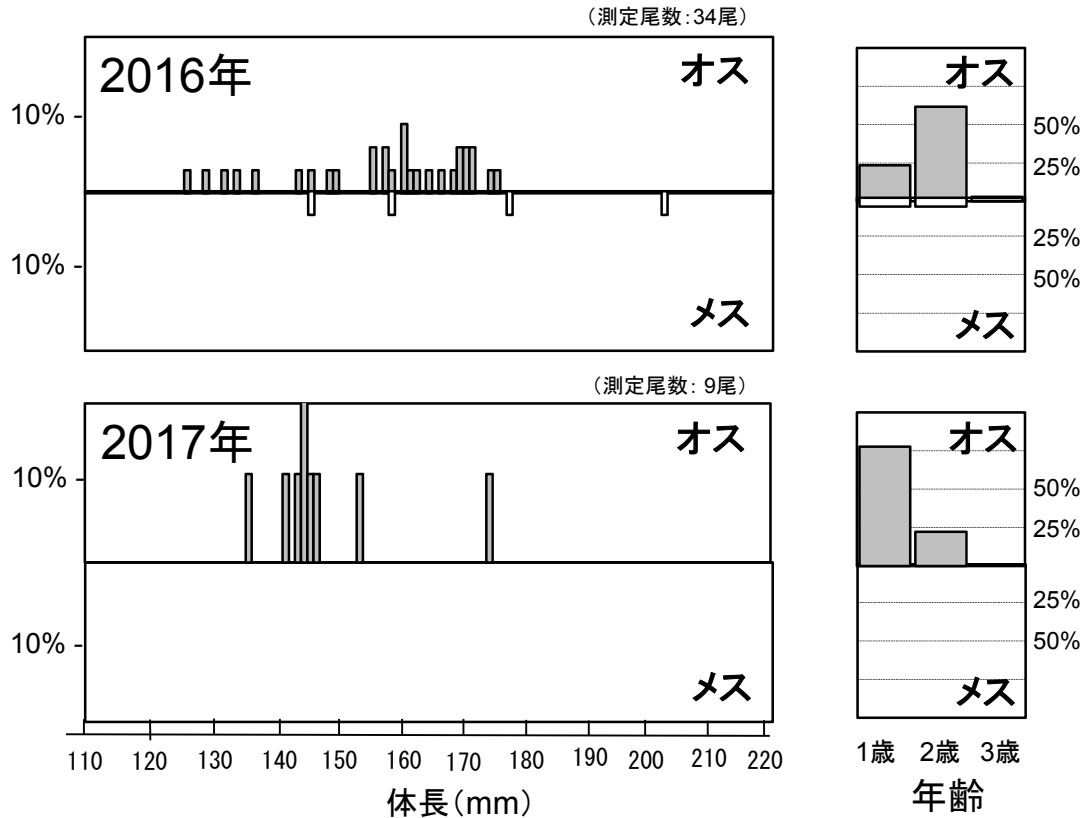


図 2 今回の調査で採集されたハタハタの体長組成と年齢組成
 上段図: 昨年(2016年)調査 下段図: 今回の調査

3. 成熟状態

例年、この調査結果から成熟の進行具合の判断や沿岸来遊時期の予測を行ってききましたが、今回の調査では雌を採集することができませんでした。そのため、次回10月のトロール調査結果に基づき改めてお知らせします。

4. 水温 (図3)

今回の調査の中で行ったCTDによる雄冬沖 (321 漁区北側～325 漁区南側の範囲) の表層から底層にかけての水温測定結果を、過去5年の平均値と併せて示しました。

過去5年は表層水温が特異的に高くなる年があり、これと比べると表層はやや低めで、水深35m付近に躍層が発達しており、それ以深では過去5年よりやや低めの水温となっていました。

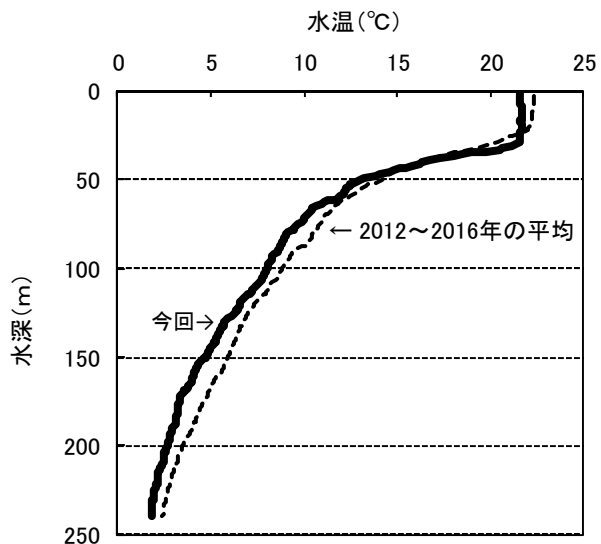


図3 雄冬沖の水温分布

5. 今後の調査など

次回の北洋丸によるトロール調査は、10月中～下旬に雄冬沖のハタハタ分布域を含む海域で、ニシン、スケトウダラの分布調査を兼ねて実施する予定です。例年のことではございますが、付近の海域で操業中の漁業者の皆様には何卒ご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。また、漁期中には漁獲物標本の採集調査も実施いたしますので、重ねてご協力をお願いいたします。